

平成30年度第1回帯広市環境審議会 議事録（概要）

日 時：平成30年7月2日（月）13：30～15：30

場 所：帯広市職員会館 2階会議室

○出席者（8名）

- ・ 委 員：梅津会長、小野委員、加納委員、田沼委員、西岡委員、伴委員、山中委員、山根委員
※欠席者7名
- ・ 事 務 局：川端市民環境部長、和田中島地区振興室長、榎本環境担当調整監、小林環境都市推進課長補佐、関井係長、小泉主任、田中主任補、荒谷係員、櫻田清掃事業課長補佐
- ・ 傍聴者等：報道関係者3名

○配布資料：座席表、委員名簿、議事次第、平成29年度版帯広市環境白書について（冊子配布）、第三期帯広市環境基本計画について（資料1）、市民アンケート（案）について（資料2）

1 開 会

2 委員自己紹介

3 議事

（1）－1 平成29年度版帯広市環境白書について

環境白書の内容について、事務局より説明。

○委員からの意見・質疑

【委 員】4ページの「市民1人1日当たりの電力使用量」ですが、電灯に限定しているのですか。

【事務局】電灯は一般家庭における使用量を表しています。それ以外には事業所などの場合、動力系という契約があります。これは電灯契約ということで一般家庭における使用量となっています。

【委 員】今後この数値が取れなくなり、評価できなくなるそうですが、今後はどうしていく予定ですか。

【事務局】今までは北電との取引であったものが、色々な業者が参入し、北電だけでは把握できなくなったため数値を入れていない状況ですので、次期計画の中では、新たな指標を考えて一般家庭におけるエネルギーの使用量について把握できるよう検討します。

【委 員】電気料が値上げになったら、電気から都市ガスにシフトしたり、灯油が値上がりしたら灯油から電気になったりと、3つのエネルギー間で変動しているはずで、その総量を見ていかないと、評価が難しいと思うのですが。

【事務局】ここでは電力の使用量という形で指標としていますが、市内からの二酸化炭素排出量の部分で灯油や電力など、それぞれ排出係数があり、算出にはエネルギー別の排出係数を掛け、トータルし二酸化炭素排出量としていますので、こちらのほうが参考数値になると思います。

【委 員】44ページの表現では、電灯及び電力使用量は若干減っている。

【事務局】近年、再生可能エネルギーの固定価格買取制度により、太陽光発電を設置し、発電した電気を電力会社が比較的高い金額で買い取りますが、電力会社が赤字を被るわけにはいかないと、

国民が広く負担する賦課金で補てんをしています。最近、電気料金が高くなりオール電化住宅が伸び悩んでいます。代わりに別の比較的安いエネルギーが使われるようになるなど、エネルギーはそうした状況に大いに左右されるので、そういった背景を踏まえながら目標値の設定について検討していきたいと思います。

【委員】1点目が「ごみを出さないまちづくり」で、市民1人当たりのごみの排出量は、道内平均と比較するとそんなに悪くないというお話がありましたが、達成率を見ると良くありません。平成20年度の値から25%減が目標値との説明がありましたが、次期計画でも引き続き同じ目標値を掲げていくのか難しい判断だと言うのが1点目です。2点目が先程ディスプレイの話が出たのですけれども、導入費用が高くて設置が進まない状況とのことですが、助成など考えられているのかお聞きしたいと思います。

【事務局】1点目の1人1日当たりのごみの排出量ですが、目標値が非常に高い数値となっており、正直、目標達成というのは非常に厳しい状況です。ごみの収集方法などが大きく変わらなければ、目標数値の達成は難しいと思っています。次期計画でこの目標値を継続するのは難しいと思いますが、今、くりりんセンターの建て替えの話があり、くりりんセンターの建て替えも考慮して目標値について検討しなければならないと考えています。2点目のディスプレイについては、情報収集に努めていきます。

【委員】市民1人当たりのごみ排出量というのは、一般廃棄物量を人口で割っているのですか。

【事務局】そうです。

【委員】今の話に関連して、リサイクル率の目標が40%という事で、かなり高い目標と思いますが、達成可能な指標なのか、次の計画の中で見直すべきなのか教えてください。

【事務局】計画を作成した時、かなり高い目標として設定したと聞いています。実際、40%を達成するのは厳しいと思っています。次期計画は、現実的な数値より少し高めを目標に設定したいと考えています。

【委員】目標達成に向け、かなり帯広市はやっていると思うのですが、評価に当たって、北海道の平均数値を入れた方が、努力していることが伝わる気がします。農地の周りを含めて、市内にはごみはそんなに落ちていない。帯広市は先進的な取り組みを進めてきているので、もっと周知した方が良いでしょう。

【事務局】帯広市は分別回収など、道内でも先進的な取り組みをしてきており、そういった事を多くの方に理解してもらえるようにしていきたいと思っています。

【委員】リサイクル率をあげるには、生ごみやディスプレイなどについて、もう少し力を入れてあげれば良いと思います。

【事務局】リサイクル率をあげるため、生ごみを資源化するなど、いくつかの方法があると思います。帯広市くらいの規模になると、生ごみだけの回収は困難だと思います。将来的にはバイオマスとして活用することを考えていく必要があると思います。

【委員】公共施設における二酸化炭素排出量について、新電力に切り替えたから減ったという話ですが、どういうことでしょうか。

【事務局】新電力会社は発電の段階で化石燃料ではなく、再生可能エネルギーを利用していることもあり、二酸化炭素排出量を算定する際に使用する排出係数がその分低くなっています。帯広市は平

成 27 年度から新電力契約を開始し、高圧受電施設を中心に順次、切り替わっています。

【委員】自然環境保全地区はどこにあるか分らないが、看板等はあるのでしょうか。

【事務局】看板は設置されていますが、はじめて行く場合は分かりにくいかもしれません。

【委員】新エネルギーの普及促進について、帯広市は多くの取り組みを行っていると思います。BDF の普及についても、廃てんぷら油の回収量は平成 27 年度から平成 28 年度にかけて、少し落ちているけれども、この取り組みも評価できます。

(1) - 2 第三期帯広市環境基本計画について

資料 1 の内容について、事務局より説明。

○委員からの意見・質疑

特になし。

(2) 市民アンケート（案）について

資料 2 の内容について、事務局より説明。

○委員からの意見・質疑

特になし。

(3) その他

○委員からの意見・質疑

【委員】今回の協議事項、報告事項とは関係ありませんが、審議会の委員 15 名中、本日 8 名の参加という事で、自分も過去には出られない事も多々ありましたが、意見を幅広く求める上では、どうなのか。もし欠席が早々に分っていたら日程の調整ができたのではないかと気になったところです。次回以降、可能であれば多くの委員の方が参加できるよう、日程を変更するなど調整していただければと思います。

【事務局】前回も過半数ギリギリでした。環境審議会は重要な会議ですので、多くの委員の方が参加し、良い提案をしていただけるよう工夫をしていきたいと思っています。

4 閉会